



107万円

財源区分：単独

# 新 官民一体でつくりあげる 2024年・市制施行100周年記念プロモーション

～市制施行100周年記念プロモーション事業～

2024（令和6）年度の市制施行100周年に向け、市民参画による記念プロモーション事業を実施します。

## 市制施行100周年記念プロモーション事業の概要

### ○記念事業プロモーション委員会の開催

記念式典をはじめとした記念事業を実施するにあたり、より実りのある事業にすることを目的に関係機関や市民により組織する『プロモーション委員会』を設置します。

### ○キャッチフレーズ・ロゴマークの募集

市制施行100周年を記念し、郡山市の魅力をも未来につなぐシンボルとなる「キャッチフレーズ」と「ロゴマーク」を募集します。



【郡山市制施行90周年・合併50年記念事業 キャッチフレーズ・ロゴマーク】

## 市制施行100周年記念事業の推進体制とスケジュール

### ○推進体制

記念事業プロモーション委員会  
(関係機関、市民等)

庁内連絡会  
(特別職、各部局長)

庁内関係各課による連携・協奏  
記念事業・記念式典・市史編纂・  
プロモーション等

実行委員会

### ○スケジュール

区分	2022（令和4）年度	2023（令和5）年度	2024（令和6）年度
目的	準備期間	準備期間・機運の醸成	100周年記念事業
方針・計画	基本方針・基本計画	実施計画	
組織	事務局	庁内連絡会 記念事業プロモーション委員会	実行委員会
主要事業	キャッチフレーズ・ ロゴマーク選定準備	記念式典・イベント 準備	記念式典・イベント 100周年冠事業

# 新 2050年カーボンニュートラルの実現に向けた公共施設照明のLED化

～公共施設LED化事業～



3億7,904万円


(債務負担行為)  
財源区分：単独

2050年のカーボンニュートラルの実現に向け、公共施設照明設備のLED化について計画的に進め、2030年度末までに本市公共施設のLED化率100%を目指します。

## 事業の背景

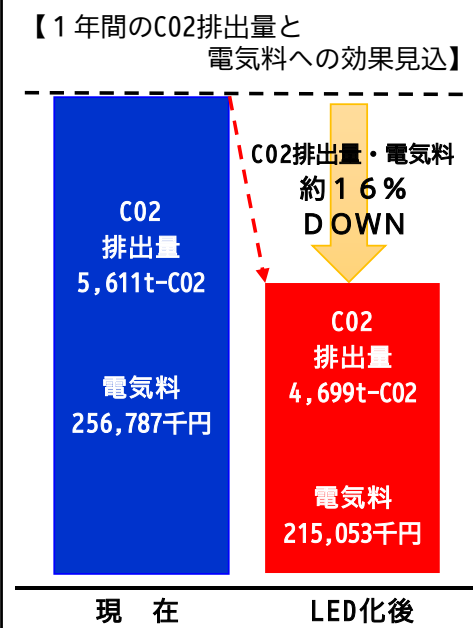
- ◆郡山市気候変動対策総合戦略（2021年3月策定）  
CO2排出量（2013年度比）  
✓2030年度まで30%削減・2050年度まで100%削減
- ◆地球温暖化対策計画（2021年10月閣議決定）  
✓政府全体のLED照明導入割合を2030年度までに100%

## 事業（全体計画）の概要

- ◆期 間 2022～2026年度（5年間）
- ◆対 象 626施設（毎年度見直し予定）  
  
(LED照明導入イメージ)
- ◆手 法 毎年度、複数施設を一括リース契約
- ◆効 果 CO2削減効果：3,879 (t-CO2) /年  
✓2030年度までの削減目標（市事務事業分：39,238 (t-CO2) /年）の約10%に相当

## 2022年度の事業概要

- ◆対 象 富久山クリーンセンターほか全35施設
- ◆手 法 リース契約（10年間）
- ◆内 容 2022年度：契約及びLED照明設備の設置  
2023～2032年度：使用料支払及び保守
- ◆効 果



- 【CO2排出量】
  - ✓CO2排出量削減効果 912 (t-CO2) /年
  - ✓市気候変動対策総合戦略 2030年度削減目標（市事務事業分） 39,238 (t-CO2) /年 ⇒約2.3%に相当
- 【電気料】
  - ✓電気料削減効果額 4億1,734万円（10年）
  - ✓事業費（2022年度事業分） 3億7,904万円（10年） ⇒約9年間で費用回収

# ⑧ 福島県立医科大学との共同研究で 市民の健康寿命を延伸



～SDGs 推進全世代健康都市圏事業～

財源区分：補助 国1/2

本市と福島県立医科大学が相互の資源を活用し、郡山市民の健康寿命の延伸と健康格差の縮小を図るため、健診による重症化予防など12（予定）の共同研究を継続します。

また、共同研究の成果や健康・介護等のあらゆる世代向けの情報を一体的に発信する全世代健康都市圏プラットフォーム（情報発信）事業を実施し、意識の向上を図ります。

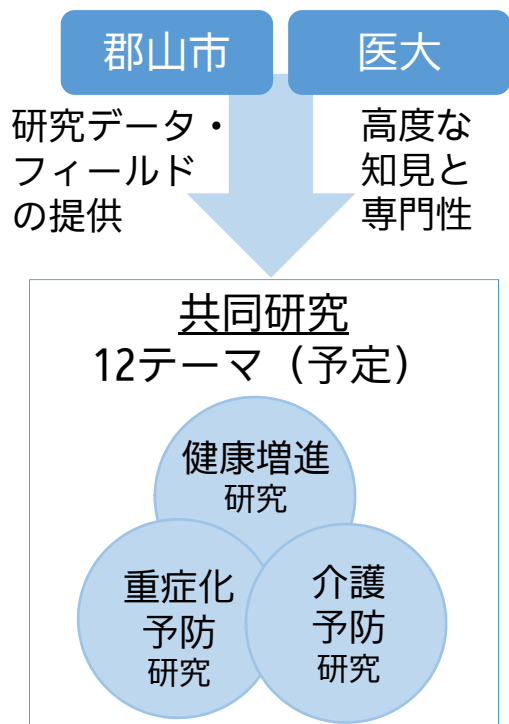
福島県立医科大学との共同研究など

1,561万円

全世代健康都市圏

プラットフォーム事業 132万円

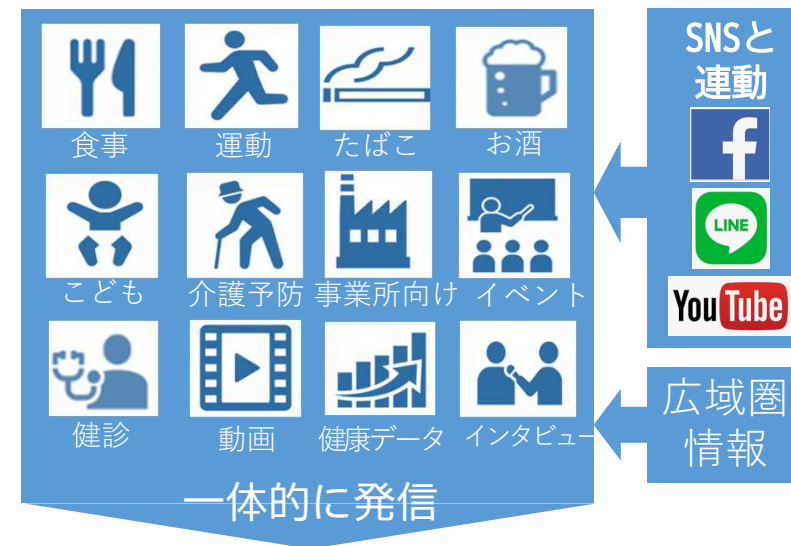
（仮）健康・介護ポータルサイト（新規開設）



- R2 医大とSDGs推進に関する包括連携協定締結
- R3 共同研究開始  
・仮説検証等
- R4 共同研究2年目  
・発展的な研究



郡山市及び広域圏の  
施策・事業へ展開



健康意識の向上

# ⑧ 「安積開拓発祥の地」 関連施設の復旧

～開成館改修事業・令和3年発生災害復旧事業～



1億74万円

(開成地区)

財源区分：下記のとおり

貴重な歴史資産である「安積開拓発祥の地」の関連施設（開成館等）を、市制施行100周年となる令和6年の全面再開に向け復旧するとともに、次世代へ承継するため長寿命化を図ります。

災害復旧事業 4,796万円 財源：市債

改修事業 5,278万円 財源：単独

## ■開成館等施設の復旧

- ①開成館実施設計 3,630万円  
◇躯体修繕・耐震補強等
- ②安積開拓関連3施設の修繕 1,166万円  
◇土壁、建具等



## ■安積開拓官舎（旧立岩邸）木羽葺屋根の葺替え

- ①屋根葺替工事費 5,278万円  
◇木羽葺屋根の葺替え



※ 木羽葺屋根  
古くから社寺や書院に用いられた伝統建築  
木材の板を竹釘を使って重ね葺いたもの

スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
開成館	基礎調査	実施設計	改修工事 ●12月竣工見込	
旧立岩邸	調査・設計	災害復旧工事 木羽葺屋根工事 ●3月竣工見込		
旧小山家		災害復旧工事 ●12月竣工見込		
旧坪内家				

# 〔拓〕西部第一工業団地 第2期工区造成工事着手



13億7,004万円

(熱海地区)

財源区分：市債等

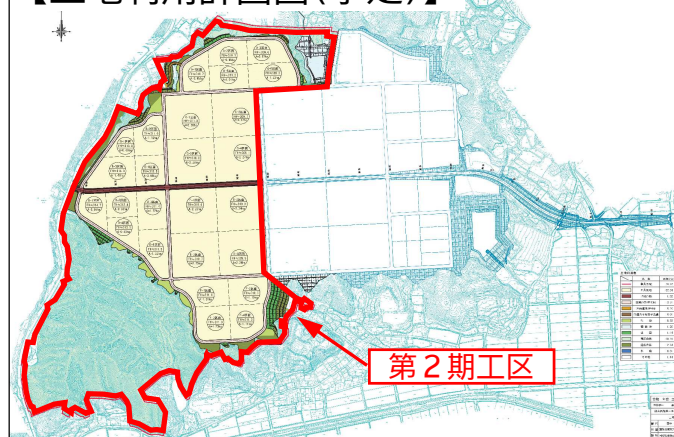
～西部第一工業団地造成事業・企業誘致活動事業の一部～

本市の戦略的な企業誘致を推進するため、その受け皿となる西部第一工業団地第2期工区の造成工事に着手するとともに、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、再エネを供給できる工業団地としての可能性を調査し、次世代産業の企業誘致に取り組みます。

## 西部第一工業団地第2期工区造成工事

13億6,604万円

【土地利用計画図(予定)】



### ○令和4年度事業内容

- ・造成工事(A=47.3ha)
  - ・工事監理業務
  - ・環境保全措置業務など
- 《継続費》

継続費		64億4,207万円
年割額	令和4年度	13億5,151万円 造成工事(防災工、調節池工など) 工事監理業務
	令和5年度	43億3,662万円 造成工事(土工、雨水排水工など) 工事監理業務
	令和6年度	7億5,394万円 造成工事(法面工、道路工など) 工事監理業務

令和4年度～令和6年度		令和7年度以降
伐採	造成工事	その他工事
測量及び各種調査業務		換地処分

西部第一工業団地への再エネ導入可能性調査(RE100工業団地) 400万円

環境意識の高い企業等に再生可能エネルギーが供給される工業団地のニーズ調査等を実施します。

### 主な調査内容

- ・民間企業への再エネニーズ調査
- ・団地周辺の農家の実態調査
- ・再エネ導入量等の調査

再生可能エネルギー

### 営農型太陽光発電



スマート農業

次世代産業の企業誘致

# 新 公共下水道整備へ民間活力(PPP/PFI)導入の可能性調査を実施



2,400万円

～御前南土地区画整理地区・富田東土地区画整理地区<下水道事業会計>～ 財源区分：補助 国1/2・企業債等

御前南土地区画整理地区及び富田東土地区画整理地区の新たな公共下水道の整備(汚水)について、整備の加速化やコスト縮減等を図るため、事業手法の調査等を行います。

## 対象地区(2地区)

御前南土地区画整理地区(60ha)



富田東土地区画整理地区(25ha)



## 調査の内容

- PPP/PFI手法事業スキームの検討
- リスク分担の検討
- 民間事業者の参入意向調査
- 事業効率性の検討
- 事業者特定プロセスの検討
- モニタリング体制、方法の検討

下水道整備(汚水)イメージ



## スケジュール

令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆先進地視察</li> <li>◆関係機関協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆PPP/PFI導入可能性調査</li> <li>◆基本設計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆PPP手法アドバイザー業務委託</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆実施方針の公表</li> <li>◆基本協定締結</li> <li>◆業務委託契約</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆工事請負契約</li> </ul>

(下水道整備課)



1億1,195万円

財源区分：市債

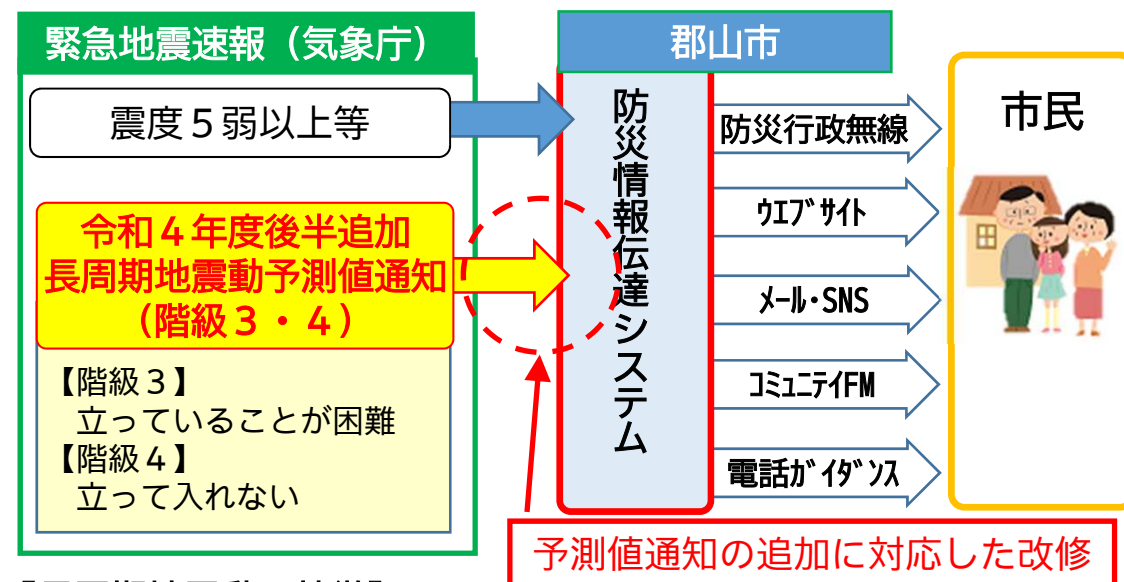
# ⑧ 防災情報伝達機能の強化による 災害対策機能の向上

～防災情報発信事業～

メールやSNS、Webサイト、防災行政無線などの多様な伝達手段を用いた防災情報伝達システムと併せ、新たに機能を強化し、災害対策機能の向上を図ります。

## ⑧ 長周期地震動通知への対応 237万円

近年、全国各地で大規模な地震災害が発生する中、令和4年度後半に気象庁が予定している「緊急地震速報の発表基準への『長周期地震動予測値』の追加」へ対応するため、防災情報伝達システムを改修します。



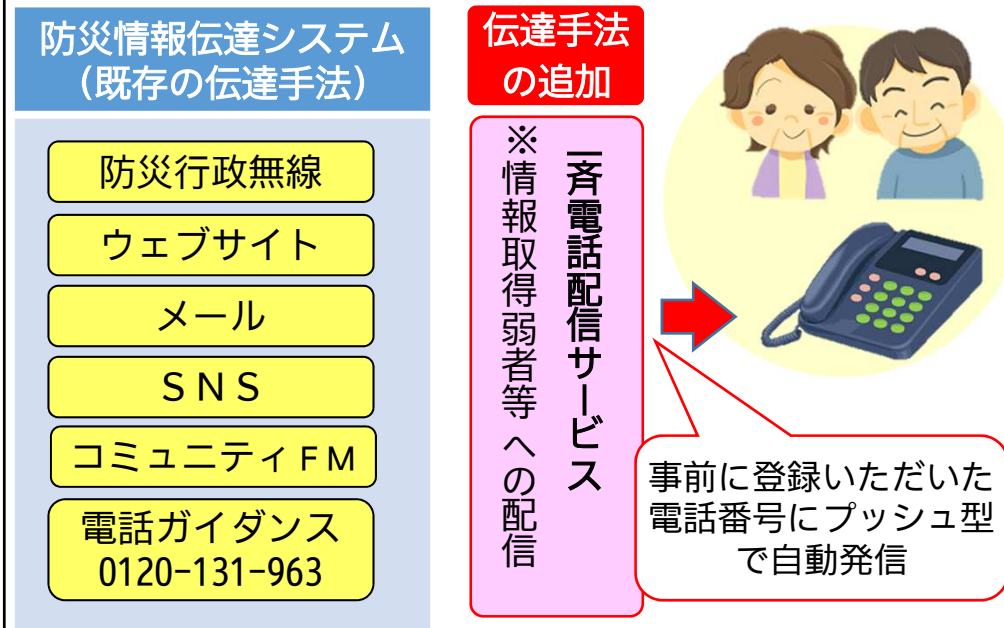
### 【長周期地震動の特徴】

- ・ゆっくりとしていて大きな揺れの周期
- ・遠くまで揺れが伝わる
- ・高層階ほど揺れやすく、低層階は揺れにくい



## ⑧ 一斉電話配信機能の導入 143万円

防災情報伝達システム（メール・SNS・防災行政無線等）による情報の取得が難しい情報弱者の方々などに対して、事前に登録いただいた個人電話へ自動電話（プッシュ型）により各種災害情報を音声で伝達できる機能を導入します。





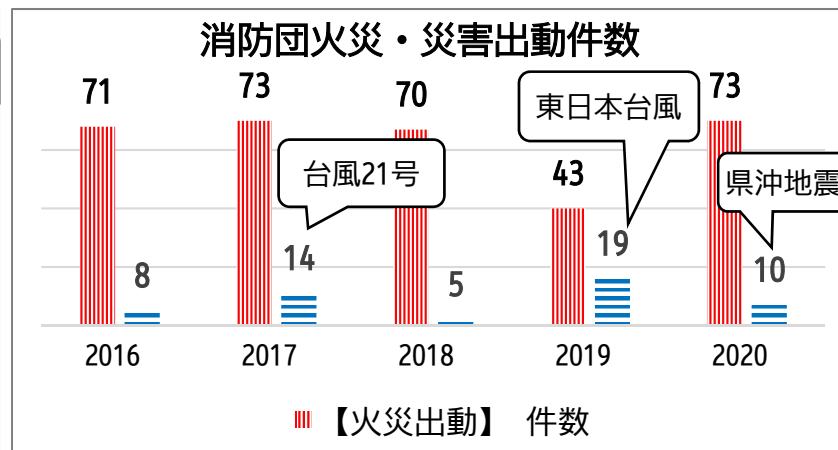
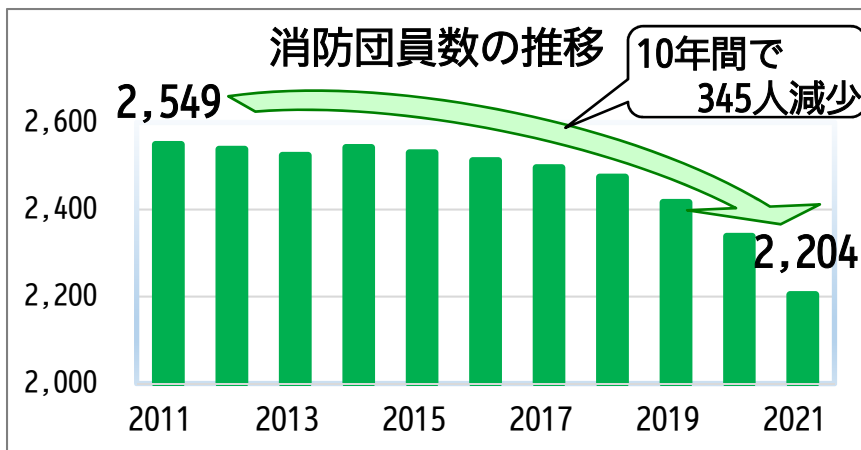
2億8,875万円

財源区分：単独

# ⑧ 消防団活動の効率化・負担軽減等による消防団員の確保

～郡山市消防団管理費・消防団員福利厚生費の一部・消防力整備事業費～

消防団員の年額・出勤報酬の見直し等の処遇改善や装備充実による負担軽減等を図り消防団員の確保と地域防災力の向上を進めます。



【消防団による救助活動の様子】

## ⑧ 消防団員の年額・出勤報酬の見直し等 1億2,959万円

気候変動による災害の大規模・複雑・頻発化する中、地域防災の要である消防団員の年額・出勤報酬を見直します。

【消防団員年額報酬の見直し(円)】

階級	現在の額	見直し後の額
団員	35,500	36,500
副班長	36,500	37,500
班長	37,500	38,500

※上記以外の階級(分団長以上)の報酬は据え置き

【出勤報酬の見直し(円)】

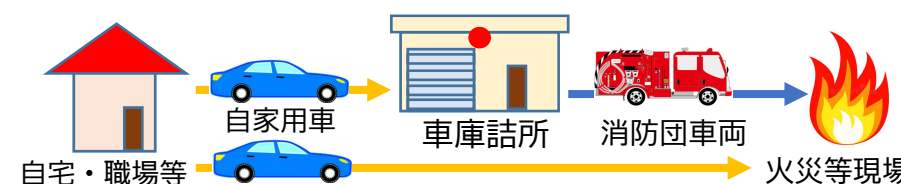
現在の額	見直し後の額
1回 3,000	1回(5時間未満) 4,000

※以後1時間超毎に1,000円加算  
※最大8,000円

## ⑧ 災害出動時の自家用車事故への補償を新設 1,078万円

消防団員が職場や自宅等から自家用車により出動する際の自動車事故への補償へ対応するため新たな保険制度に加入します。



【イメージ図】





**〔拡〕 車庫詰所の整備・統合 3,463万円**

消防団活動の拠点である車庫詰所の整備を行います。

湖南(旧荒町班)	湖南(旧古町班)
現団員数 11名	現団員数 5名
	
湖南町福良字荒町268-5	湖南町福良字町浦5378-2
1984年3月築 木・CB造・平屋・50.99㎡	1993年3月築 木造・2階建・79.50㎡

車庫詰所の老朽化と地区の団員減少に対応した整備・統合

**整備・統合後 団員数 16名**

湖南町福良字荒町268-5 (現荒町班車庫詰所)

木造・平屋・93.2㎡

**【建替え後のイメージ】**

中央地区隊第1分団第2班詰所  
(大町一丁目・令和2年度建替)

※団員数及び敷地面積等により  
施設規模及び構造(階層)が  
異なります。



**〔拡〕 消防団の装備充実 1億1,375万円**

**○消防車両の更新**

消防団の主要な装備である消防ポンプ自動車等の計画的な更新を行います。

- ◆消防ポンプ自動車 (2台)  
郡山中央、富久山地区隊
- ◆小型動力ポンプ積載車 (4台)  
安積、三穂田、熱海、西田地区隊
- ◆小型動力ポンプ (2台)  
安積、中田地区隊



【左から消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ積載車、小型動力ポンプ】

**○消防防火衣の更新**

火災現場等での安全な消火活動に必要な防火衣を更新します。



【防火衣を着用した消火訓練の様子】

# 新 市民・事業者・行政の協奏による気候変動対策の推進

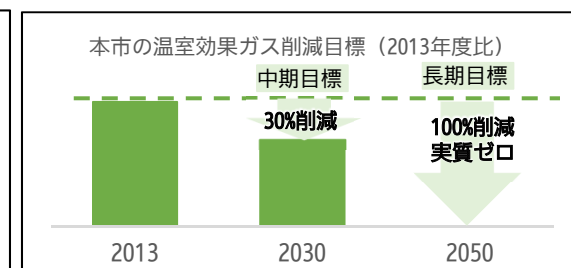
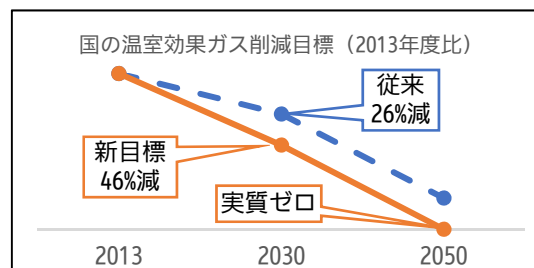


～地球温暖化対策事業・新エネルギー導入促進事業・新エネルギー普及促進事業の一部～ 財源区分：下記のとおり  
 「2050年温室効果ガス排出量実質ゼロ」の達成に向け、市民・事業者の意識の醸成を図り、具体的な行動変容を促すとともに、率先的な気候変動対策を推進します。

## 拡 郡山市気候変動対策総合戦略の改定

国の新たな地球温暖化対策計画等を踏まえ、2021年3月に策定した本市の戦略を改定します。

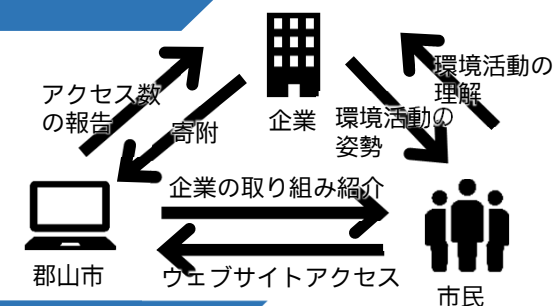
★気候変動対策総合戦略改定業務委託 540万円（単独費）



## 新 環境ワンクリック募金の創設

市ウェブサイトにて、参加企業の環境への取組みに関する情報を掲載し、閲覧した方が企業のバナーをクリックする毎に、企業が本市に寄附する仕組みを創設します。（環境を目的としたこのような取組みは東北初）

★環境ワンクリック募金ウェブサイト作成業務委託 99万円（単独費）



## 新 体感型環境学習施設の整備

企業版ふるさと納税（信金中央金庫）を財源として、体感型環境学習施設を富久山クリーンセンターに整備し、次世代を担う子どもなどへの環境に対する意識醸成を図ります。

★体感型環境学習施設整備業務委託 1,000万円（地方創生応援基金）



## ⑧ 次世代自動車導入の支援



次世代自動車の加速度的な導入を促進し、2030年に新車販売台数に占める次世代自動車の割合90%を目指します。

★次世代自動車導入補助金 1,000万円【拡充】（環境基金）

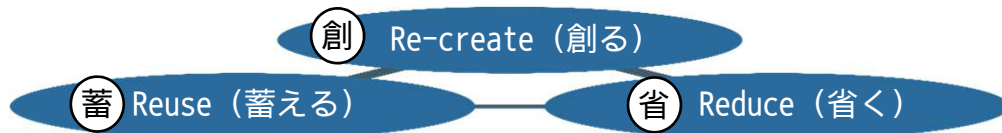
車種（次世代自動車）	補助単価	台数
E V（電気自動車）	5万円	80台
F C V（燃料電池自動車）	20万円	30台

※国・県も同様の支援制度があります。

## ⑧ 家庭への再生可能エネルギーの導入促進



再生可能エネルギー由来の電気を家庭において創り、化石燃料由来の電気を省き、蓄えることにより、二酸化炭素排出量の一体的な削減を推進するため、太陽光発電システム、蓄電池等の設置費用の一部を補助します。



対象設備		補助単価	件数
太陽光発電+蓄電池	⑧ ⑧ ⑧	13万円	110件
蓄電池	⑧ ⑧	10万円	80件
地中熱	⑧ ⑧	10万円	1件
エネファーム	⑧	5万円	50件
V2H（電気自動車充電設備）	⑧ ⑧	5万円	10件

★エネルギー3R推進事業補助金 2,540万円【拡充】（単独費）

## 公共施設への再生可能エネルギー設備の導入



公共施設へ太陽光発電設備を導入し、二酸化炭素排出量削減に加え、災害時には非常用電源として活用します。

令和4年度は、総合地方卸売市場等への設備導入に向けた事業を推進します。

★郡山市総合地方卸売市場太陽光発電設備等設置事業(実施設計) 290万円【継続】（単独費）

R3	R4	R5
	青少年会館(R4工事)	
	総合地方卸売市場 (★R4実施設計・R5工事)	



8,168万円

財源区分：単独

# ④ DX・気候変動に対応した市庁舎の在り方の研究と長寿命化を推進

～庁舎管理事務費・庁舎長寿命化事業～

西庁舎の長寿命化を図りながら、DX化や地球温暖化・気候変動にも対応した、今後の市庁舎の在り方について調査・研究を進めます。

## ⑤ DX・気候変動対応庁舎の在り方研究 63万円

DXや気候変動への対応、感染症対策などの新しい生活様式に配慮するとともに、市庁舎のZEB化をも見据え「市庁舎の在り方」について調査・研究を進めます。

### ○事業内容

若手職員を中心としたワーキンググループによる検討



【1968年建設の本庁舎(手前)と1993年建設の西庁舎(奥)】

## ⑥ 市役所西庁舎の長寿命化 8,105万円

2019（令和元）年度に策定した「西庁舎中長期改修計画」に基づき、市公共施設等総合管理計画に定める建物の目標使用年数である80年を目指し計画的な修繕を行い維持保全を図ります。



【西庁舎北側】

### ○2022年度予定

北側ガラスカーテンウォールシーリング修繕等（D・C判定）

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度～
長寿命化計画策定	→							
緊急修繕・更新項目（D判定箇所）改修		→	→	→				
短期改修推奨項目（C判定箇所）改修				→	→	→		
中期改修計画による改修						→	→	→
長期改修計画による改修								→

※D判定：早急に対応が必要、C判定：概ね3年以内に対応が必要

（総務法務課）

# ① ため池の貯留・洪水調整機能強化

～ため池防災・減災事業～



9億9,333万円

(継続費等)

財源区分：市債等

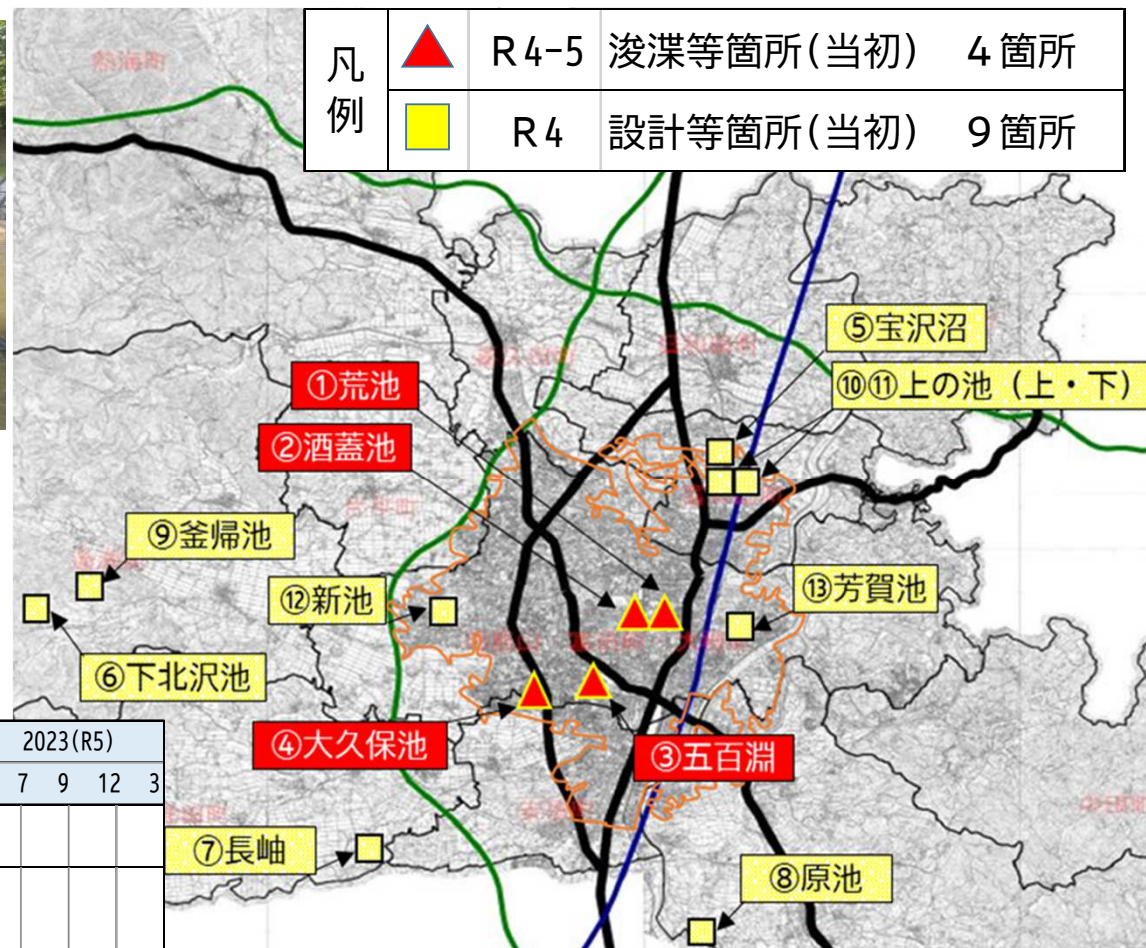
流域治水対策推進のため、農業用ため池の「池底浚渫による貯留機能強化」に併せ「事前放流施設整備による洪水調整機能強化」を図り、更なる浸水被害の軽減を目指します。

【計画概要】 モデルため池4池の浚渫【浚渫面積 12.1ha・増加貯留量 6万m<sup>3</sup>】  
追加のため池9池の浚渫【浚渫面積 29.6ha・増加貯留量 15万m<sup>3</sup>】

堆積した土砂を除去する吸引機



水面に浮く吸引圧送船



今後の計画 (対象ため池 13箇所)		2021(R3)			2022(R4)			2023(R5)						
		12	3	4	7	9	12	3	4	7	9	12	3	
測量実施設計 (浚渫外)	4箇所		■	■										
	9箇所				■	■	■							
浚渫等工事	4箇所				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

# ④ 河川整備による計画的な「流域治水」の推進



9億675万円

～準用河川改修事業～

財源区分：補助 国1/3等

令和元年東日本台風により、甚大な被害が発生した郡山市が管理する準用河川（照内川、徳定川、愛宕川等）において、河川改修及び河道掘削等の浸水対策を進めます。

令和4年度 主な事業内容

## 照内川

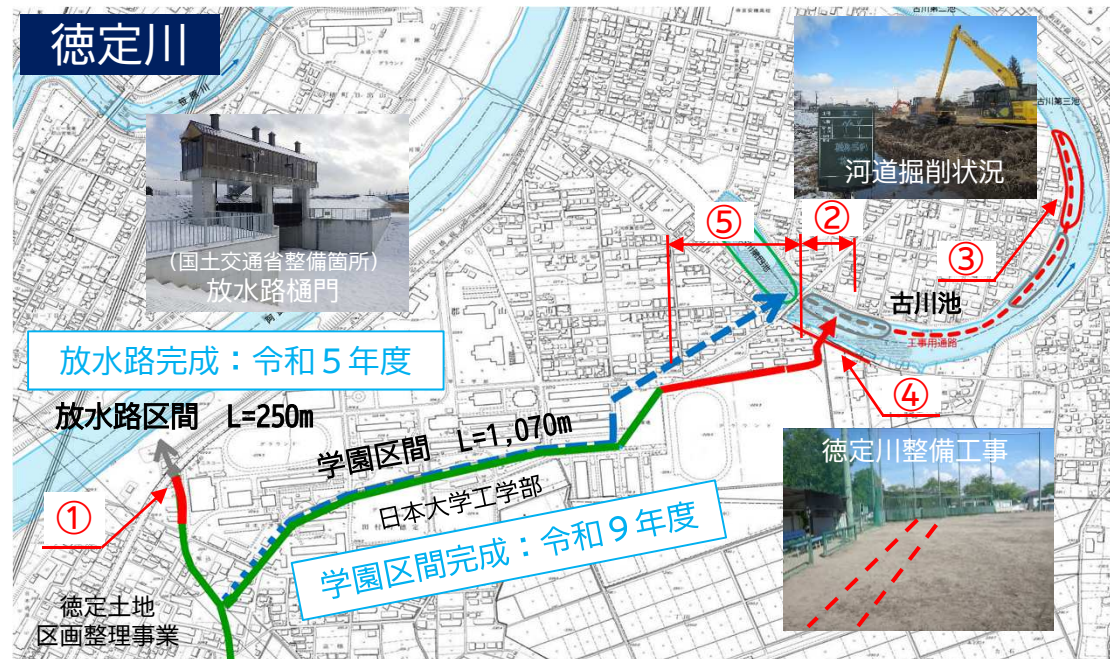


【予算額 5,285万円】

計画区間1,500mを整備するため、令和4年度は橋梁設計・用地買収等を実施します。

- ①橋梁架替に伴う設計委託 N=2橋
- ②用地買収 A=2,700m<sup>2</sup>
- ③不動産鑑定

## 徳定川



放水路完成：令和5年度

放水路区間 L=250m

学園区間完成：令和9年度

徳定土地 区画整理事業

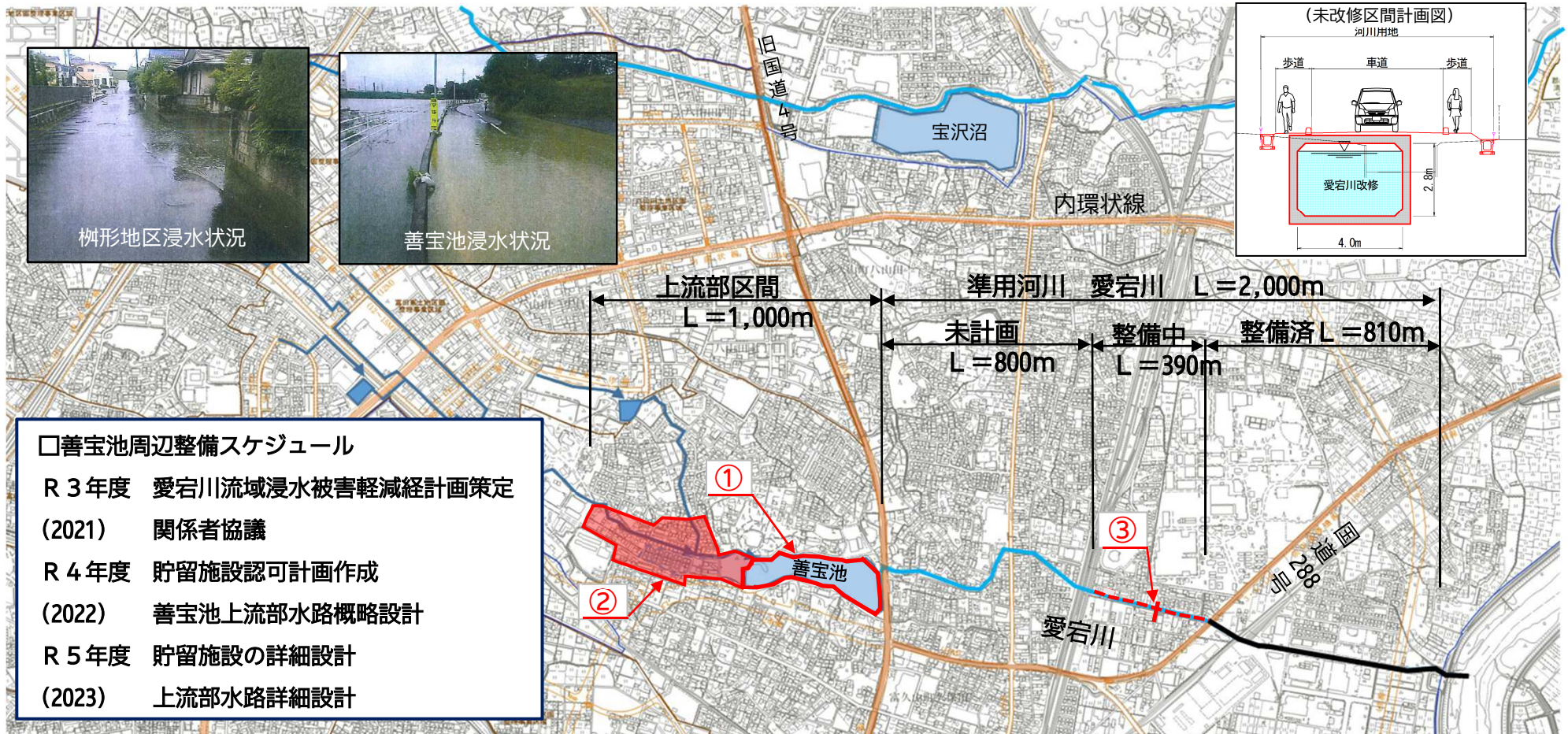
【予算額 6億8,617万円】

- ①放水路整備工事  
(放水路区間250mのうち70mの改修工事の実施)
- ②徳定川(学園区間)整備工事  
(学園区間1,070mのうち100mの改修工事の実施)
- ③古川池開削工事 ④学園区間上下水道管移設補償費
- ⑤学園区間物件移転補償費

# 愛宕川

## 愛宕川流域（善宝池周辺）に係る浸水対策

浸水被害が頻発している善宝池周辺の浸水対策として、善宝池を貯留施設へ改築するための河道計画作成や池上流部の概略設計を行います。併せて、富久山町久保田字我妻地内の未改修区間の工事に向けて水道管移設設計（補償）を行います。



【予算額 4,040万円】

- ①愛宕川流域貯留浸透事業認可計画作成
- ②善宝池上流部水路概略設計
- ③水道管移設設計・補償

(愛宕川の2,000mのうち、整備計画区間390mを整備するため、水道管移設設計等を実施します。)

# ⑧ 河川整備による計画的な「流域治水」の推進



9,389万円

～普通河川改修事業～

財源区分：単独・市債

国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を基軸とした緊急自然災害防止対策事業債を活用し普通河川の改修を進めます。

### 【実施内容】

- ・測量設計委託
  - 大槻川（大槻町字熊野木）
  - 川底川（三穂田町八幡）
- ・改修工事
  - 大槻川（大槻町字上町）
  - 仲川（湖南町福良）
  - 宮南川（逢瀬町多田野）
  - 川底川（三穂田町八幡）



【仲川改修イメージ】



【宮南川改修イメージ】





# ⑧ 生活に身近な道路や水路側溝の整備



8億8,180万円

(市内各所)

財源区分：単独・市債

～生活道路改良舗装事業・水路側溝整備事業～

気候変動に伴う防災減災対策の一環として、生活環境の利便性や安全性の向上を図るため、生活に身近な道路や水路側溝の改修を推進します。

## 生活道路改良舗装事業

予算額 3億5,180万円

実施内容

- ・道路改良工事
- ・現道舗装工事
- ・測量設計

施工箇所 市内56箇所

(施工前)



(施工後)



【道路改良工事イメージ】

## 水路側溝整備事業

予算額 5億3,000万円

実施内容

- ・整備工事
- ・測量設計

施工箇所 市内133箇所



【水路側溝整備工事イメージ】

# 新 災害に強いライフラインの構築に向けた 水道管の予防保全調査



3,859万円

～水道管路維持管理費の一部＜水道事業会計＞～

財源区分：単独

水道管の老朽化による事故の防止と水道水の安定供給のため、AIを活用した水道管路の劣化予測診断や水管橋の点検調査を実施し、水道の基盤強化を図ります。

## 水道管路劣化予測診断業務委託 3,348万円

AIにより水道管路の破損確率を解析し、管路の更新及び維持管理を効率的に推進します。

○対象管路：導水管（ずい道を除く）・送水管・配水管  
総延長 約1,790km

## 水管橋点検調査業務委託 511万円

河川等を横断する水管橋の点検調査を行い、予防保全による施設の長寿命化を図ります。

○調査数：129箇所（全箇所を対象）

AIにより管路の  
破損確率を計算



破損確率計算結果の  
マッピング・可視化



管路の破損確率をヒートマップとして地図上に可視化



【大善寺水管橋（トラス補剛形式）】



【点検調査状況】

# 新 省エネ空調設備への更新など 図書館の設備を充実



4,741万円

(麓山地区)

財源区分：単独

～図書館改修費の一部～

老朽化により不具合の発生していた中央図書館3階部分の空調設備を環境負荷の低い設備に更新するとともに、経年劣化により機能低下の見られる視聴覚ホールの音響設備について、機器更新を行います。

## 3階空調設備更新

3,443万円

### 概要

経年劣化により、暖房運転に支障を起している3階空調設備を、環境対策に配慮した、省エネ性能の高い空調機に更新します。



【空調室外機】

## 視聴覚ホール音響設備更新

1,298万円

### 概要

経年劣化により、故障や機能低下がみられているホール用スピーカー及び音響調整卓を更新します。



【音響調整卓】

### 更新スケジュール (予定)



図書館業務は通常どおり開館します

## ④ 強靱な学校施設整備の推進

### ① 学校施設の長寿命化と気候変動への対応

～小学校長寿命化改修事業～



12億6,390万円

財源区分：補助 国1/3・市債

学校施設の老朽化対策を進めるとともに、児童生徒の生命を守り、気候変動による自然災害に強い学校づくりを実現するため、小学校校舎の長寿命化改修を実施します。

▽校舎長寿命化改修工事（大島小「Ⅲ期」、永盛小「Ⅲ期」※、赤木小「Ⅱ期」※）

※気候変動対応



～ 永盛小学校 長寿命化改修 ～

#### 小学校校舎の長寿命化

##### 1 基本的な考え方

建築年数の古い施設から改修を実施することとし、過去の改修履歴や学校施設の現状、児童生徒数の推移等を総合的に勘案し改修内容や規模等を決定します。

##### 2 改修の内容

内部改修（床・壁・天井等）、外壁・屋上防水改修、電気・給排水・情報防災設備改修、バリアフリー化等

##### 3 気候変動に対応

永盛小、赤木小については「気候変動対応型」対策として従来の教室・管理諸室のレイアウトを変更した整備を進めます。



財源区分：市債

# ② 強靱な学校施設整備の推進

## ② 安全・安心で快適な学校施設の整備

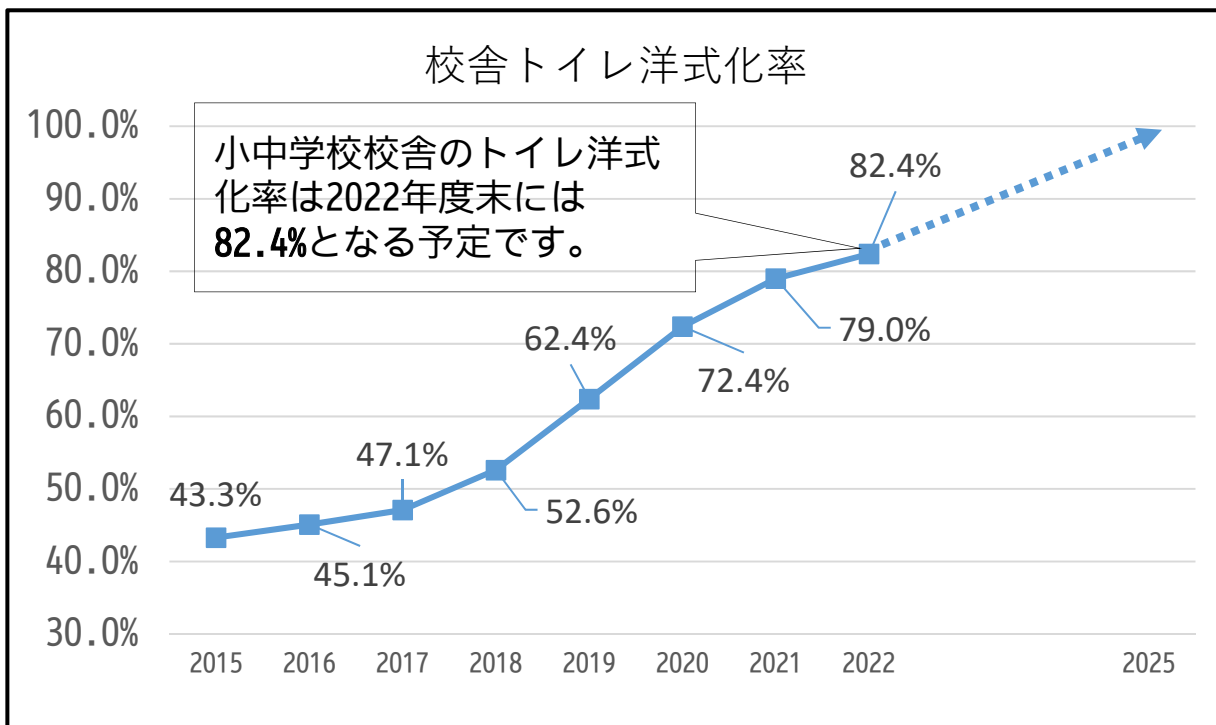
～小・中学校施設環境整備事業～

トイレの洋式化改修工事により、新型コロナウイルス感染症対策と安全・安心で快適な学校施設の整備を推進するとともに、老朽化・破損等による学校施設の機能低下の改善やエアコン設置、消防設備の維持管理等の各所改修工事により、より良い教育環境の維持・充実を図ります。

▽トイレ改修工事（安積三小外13校・110器）

▽各所改修工事（床改修、エアコン設置等）

▽消防設備、遊具等の維持管理



改修前



改修後



トイレ改修イメージ

# ⑧ こおりやま広域圏の活性化に向けた 圏域市町村の更なる連携・協奏



2億3,178万円

財源区分：その他

～連携中枢都市圏推進事業・地域おこし協力隊事業・固定資産税の課税に要する経費の一部 等～

こおりやま広域圏の課題解決と活性化に向け、圏域内外の若者の参画や、デジタル田園都市国家構想を踏まえた圏域市町村及び企業等との更なる連携・協奏を進めます。

## ⑧ 公民協奏による連携中枢都市圏の推進 2,959万円

こおりやま広域連携中枢都市圏17市町村において、都市圏ビジョンに基づき公民協奏パートナーシップ協定などによる多様な主体間連携を推進します。

○包括連携協定締結によるメリットと成果を広くPR  
本市と協定企業の皆さんとの相互の成果を発信します。

公民の対等なパートナーシップにより双方の成果を発揮

双方の強みとメリットを生かし、相互に高め合う「連携・パートナーシップ」のプラットフォームを形成

連携市町村のメリット

- 住民サービス向上
- 広域的課題の解決
- 地域企業等との連携

企業・団体のメリット

- CSV・地域貢献
- 知名度・イメージ向上  
(行政媒体での連携PR)
- 新たな市場開拓・業務連携

包括連携協定によるメリットを企業・団体側に実感していただき、広くその成果を発信

## ○わかものボードレスプロジェクト

広域圏内の高校生及び専門学校生の参加により、地域資源を活用した情報発信事業を「提案・実践・発表」のパッケージにより実施します。



【プロジェクト外活動の様子】

## ⑨ デジタル田園都市国家構想を踏まえた協奏研究 22万円

圏域市町村とともにRPAなどの自治体DXの研究を進めます。



## ⑩ 圏域内航空写真の合同撮影 1億9,199万円

圏域市町村と合同で航空写真撮影を実施し、固定資産税の適正課税のほか、防災・農林業振興・道路整備等、今後のまちづくりへ活用します。



## ⑪ 地域おこし協力隊体験ツアー 998万円

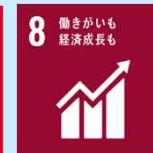
地域おこし協力隊の募集に先立ち、連携市町村それぞれのプログラムを集約した体験ツアーを実施しま

- ・ 移住後の生活圏全体を体験
- ・ 協力隊業務を事前体験
- ・ 連携市町村の情報発信力強化
- ・ 参加者からのフィードバック



新 ハローワークと連携した

求職者の就職支援

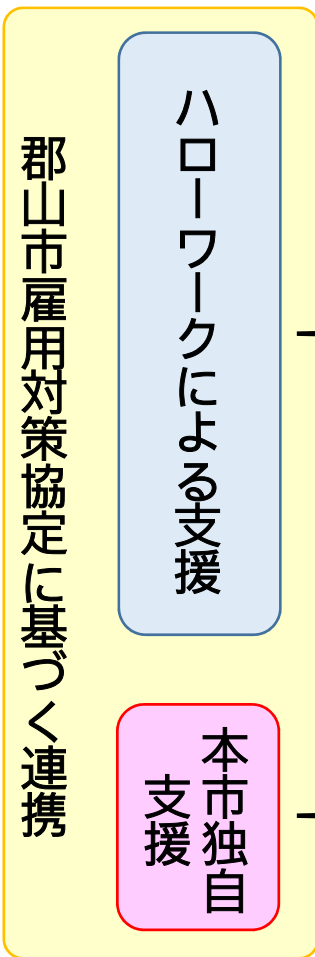


102万円

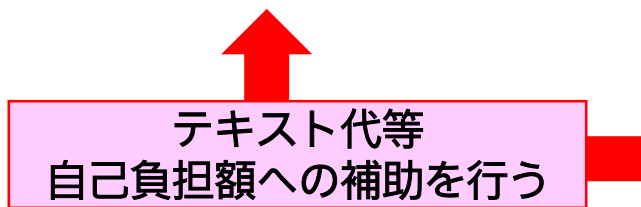
～求職者職業訓練支援事業～

財源区分：単独

厚生労働省福島労働局（ハローワーク）との連携により、国が実施する「求職者支援訓練」を利用する求職者に対し、就業機会の拡充と雇用の安定を図るため、本市独自に職業訓練時の自己負担額を助成します。



求職者支援訓練の概要 ※根拠法令：求職者支援法	雇用保険を受給できない求職者のため、雇用保険と生活保護の間をつなぐ第2のセーフティネットとして生活支援の給付金を受給しながら、無料の職業訓練を受講し、再就職や転職を目指す。
対象者	ハローワークの求職者 主に雇用保険を受給できない方
訓練期間	2～6ヶ月
実施機関	民間教育訓練機関等
2020年度実績（国）	23,734人
受講料	無料（テキスト代等を除く）
テキスト代等自己負担額	3,000円～20,000円程度



補助対象者	求職者支援制度を利用し、職業訓練を行う方
対象経費	テキスト代等自己負担額
補助率	対象経費の1/2

④ こおりやまの魅力を発信

～シティプロモーション推進事業の一部～



財源区分：下記のとおり

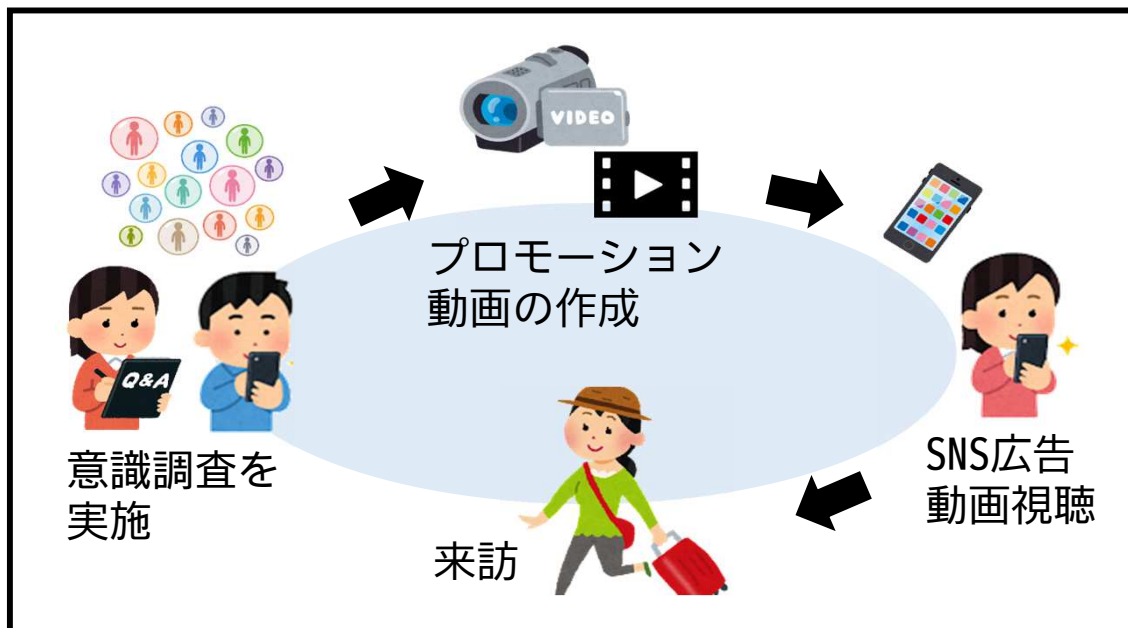
こおりやまの食や観光・文化等の魅力を首都圏に向けて発信し、関係人口の創出を図るとともに、海外へのプロモーション活動につなげるよう海外自治体との交流を推進します。

⑤ 「郡山を知る・見る・食べる」発信事業 374万円  
財源：補助 国1/2

⑥ 国際化推進事業 29万円  
財源：単独

- ◆本市イメージの意識調査、実態把握
  - ◆イメージの向上を図る動画を制作
  - ◆首都圏向けSNS広告として発信
- ➡ 来訪者の増加及び関係人口の創出

- ◆（一財）自治体国際化協会と共催し、海外自治体幹部交流協力セミナーを実施
- ◆本市の現状及び課題について意見交換及び情報交換を行い海外自治体とのネットワークを構築



【イメージ図】

日程

10月または11月の3日間(予定)

対象者

シンガポール事務所の担当  
地域内の自治体及び関係機  
関幹部職員  
(参加者想定：約11名)

※令和3年度はSDGsをテーマ  
にオンライン開催



【過去の視察の様子】

【シンガポール事務所】

担当地域：12か国

- ・シンガポール・マレーシア
- ・フィリピン・インドネシア
- ・ブルネイ・タイ
- ・ベトナム・ラオス
- ・ミャンマー・カンボジア
- ・インド・スリランカ





財源区分：補助 県2/3等

# ⑧ 学術連携の推進による 持続可能型農林業の創造

～農学研究成果活用推進事業～

農学系大学との連携により、地域資源の掘り起こしや地域住民への学習機会の提供を行い、地域の活性化・持続可能な農林業の実現を目指します。

## ⑧ 東京農工大学との連携等

594万円

### ⑧ 特定農政課題研究委託事業

200万円

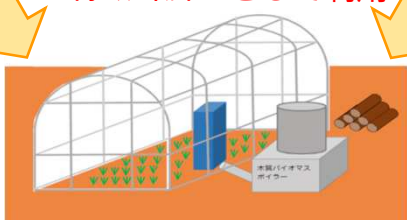
#### 【森林バイオマス等資源利活用調査】

森林バイオマス等の資源を利活用した地域資源循環システムの創生に向け、調査・研究を実施。



【未利用森林資源】 【放置された竹林】

バイオマス燃料として利用



【バイオマス発電の実現・木質バイオマス燃料】

#### 【グリーンツーリズム活動調査研究】

(都市と農村の交流促進実現へ)  
農家民宿や農業体験活動の推進による都市と農村の交流促進・農村地域の活性化のための調査・研究を実施。



【農工大留学生  
冬の郡山  
体験ツアー】

## ⑧ サイエンススクール 46万円

市内の小中学生を対象に、農工大の学生ボランティアによる科学教室を開催

【令和3年度  
サイエンススクール】



産学官民連携による  
カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現

## ⑧ 福島大学との連携

337万円

### ⑧ 農学実践型教育プログラム(広域圏連携)

301万円

園芸作物や稲作栽培について、アグリテックの知見を活かした調査・分析・モデル事業により、農産物の高品質化、収量増加、生産コストの縮減に向けた研究を実施します。



【農学実践型教育プログラム  
実施の様子】

- ・画像認識による栽培技術構築
- ・郡山ワインの特性把握 等

### ⑧ 公開授業(広域圏連携)

36万円

こおりやま広域圏の高校生、農業者、食品関連事業者等を対象に「食と農への関心」を高め、地域農業の活性化を図りま



【公開授業】

- ・食農学類の実践活動
- ・気候変動対策等の研究報告
- ・発酵学及び醸造学の最前線 等

# ⑧ こおりやま広域圏等との連携による 観光誘客の推進



3,975万円

～観光誘客事業、インバウンド観光推進事業、物産振興事業、観光地施設改修費～

財源区分：補助 国1/2等

コロナ感染症拡大予防や観光ニーズの変化に対応した観光開発など、多角的な視点から基盤づくりを進めると共に、広域連携のもとDXを活用した誘客促進・特産品販路拡大等にも積極的に取り組みながら新たな観光施策の展開を図ります。

## ⑧ 観光誘客の推進 1,219万円

### ⑨ フィルムコミッション推進事業 428万円

ロケ誘致のデータベース化をはじめ、PR用ウェブサイト構築等、DXを活用したロケ候補地(広域圏内)の情報発信やエキストラ等の募集を行うなど総合的にフィルムコミッションの推進を図ります。



<「こおりやまフィルムコミッション」ロゴマーク>

### ⑩ 観光コンテンツ開発支援事業 203万円

「ここでしか体験できない観光コンテンツ」の開発を行う事業者を支援し、広域圏域内の滞在周遊を目指した誘客促進を図ります。

○支援対象：地場産業等事業者、観光関係事業者

○支援内容：旅行商品の開発・販売に係るアドバイザー派遣、開発経費補助(補助率1/2・上限50万円)

## ⑧ 特産品の販路拡大を促進 1,154万円

### ⑪ 特産品等動画制作・発信 423万円

本市特産品や自然、アクティビティ等の観光情報を組合わせた訴求力の高いPR動画を制作・発信することで、物産振興と観光誘客を図ります。



## ⑧ インバウンド観光の推進 1,220万円

### ⑫ 猪苗代湖一周サイクルリズム推進事業 「イナイチ」の推進 1,000万円

○「イナイチ」ブランディング強化のため、湖岸コースからの眺望を阻害する雑木伐採等による絶景スポットづくりや、自転車専門誌を活用したPR事業の展開など、知名度向上を図ります。



<雑木伐採前後イメージ>

○在住外国人のモニターライドによる課題調査などにより、インバウンド回復を見据えたイナイチ受入環境整備を着実に進めます。



<「けいぞう」ロゴマーク>

## ⑧ 観光地施設の改修 382万円

### ⑬ デコ屋敷観光用トイレ改修 327万円

市設置デコ屋敷観光用トイレの上水道接続工事を実施すると共に、自動水洗・便器更新(洋式化)を行い利便性向上・安全性の確保を図ります。



# 新 富田公民館（富田行政センター）の 駐車場増設

～公民館改修費の一部～



1,973万円  
(富田地区)

財源区分：単独

富田行政センターとの複合施設である富田公民館の駐車場増設工事を行い、コミュニティの推進と生涯学習環境の整備を図ります。



植栽撤去・余裕スペースの有効活用による  
駐車区画（10台程度）の増設



【植栽の様子】



【現在の駐車場】

## スケジュール（予定）

令和4年度												令和5年度		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
起工・契約			工事施工										供用開始	